こちらのメール配信につきましては、イプソス担当者とお名刺を交換された方、ご連絡先を頂戴した方へ弊社の最新情報等をお伝えする趣旨で配信しております。

第16号 目次

1. HF&UX調査のご紹介
2. 医療機器チームの自主調査Pulse Surveyのご案内
3. イプソスウェビナー実施のご報告

HF & UX調査のご紹介

私たちの日常は、より快適な生活を送れるように見た目の美しさや使い勝手の良さを追求して作られた多くのものに囲まれています。機能性や効率性の追求は医療分野でも例外ではなく、臨床現場の様々なシーンで使用される医療機器や器具、そして、患者さんが使用するデバイスなどには、安全かつ効率的に医療行為を行うために考え抜かれたデザイン(機能や形状)が求められます。

医師・看護師、または、患者さんが「手に取るもの」の使いやすさや安全性を高めるため、さらには、使用満足度や製品価値を高めるためにはどんな改良/改善が必要なのでしょうか？そんな疑問にお答えするのがイプソスヘルスケアの「HF&UX調査」です。

HF＝ヒューマンファクターズ（人間工学）、UX＝ユーザーエクスペリエンス

HF&UX調査とは

イプソスヘルスケアがご提供する以下の様々な製品ライフサイクルの調査において、HF&UX調査は主に「製品開発段階における顧客理解」や「上市」ステージで実施されます。

図1. イプソスヘルスケアのサービスの中のHF&UXの位置づけ

HF&UX調査では、糖尿病やリウマチ治療のために使用される注射器や喘息治療のための吸入器などのドラッグデリバリーデバイス、薬剤の包装材、医療用ソフトウェア・アプリ、治療機器・診断機器、または、それらの添付文書・取扱説明書などが、**理解しやすく、容易かつ安全に操作できるように改善する方法**をお調べします。

『**製品の使いやすさや分かりやすさは、実際のユーザーに聞くのが一番**』という考えのもと、実際に製品を使用した上での使い勝手の良さや操作方法の理解度など、ユーザー視点の評価を専門のリサーチャーが調査します。
HF&UX調査では、会場調査を中心に、アンケート調査や、さまざまな手法を通じて得られた、人間工学とユーザーエクスペリエンスに関する知見をご提供します。

HF&UX調査を実施する目的とタイミング

HF&UX調査は、製品の開発段階から上市後までの様々なステージにおいて異なる目的の調査を実施できます。

図2. HF&UXサービスの全体像

ディスカバリーリサーチ（探索的調査）
ディスカバリーリサーチは、次期製品の開発に向けてユーザーの実態を把握・分析するための調査です。ユーザーが自覚している不満や要望を聴取するだけでなく、「製品の使用環境」、「ユーザーが行う作業全体の流れ」、「ユーザーの使用経験」などまで深掘りすることにより、新たな潜在的ニーズの掘起こしにつながることも多くあります。ディスカバリーリサーチでは、インタビュー、ユーザーテスト、アンケートなどを実施します。

フォーマティブテスト（形成的評価）
フォーマティブテストでは、ユーザーが感じている製品の使いづらさや資料の分かりにくさなどの問題点とその原因を洗い出し、改良が必要な点を明確にします。「聴取された問題とその原因の分析、そして改良の方向性の提案」を調査結果としてご提供します。

バリデーションテスト（総括的評価）
バリデーションテストでは製品を使用する上で、重大な操作エラーが起きないことを最終確認します。ここでは、医療機器・器具やデバイスなどの設計の妥当性を確認することで、製品の最終確認のお手伝いをします。欧米での薬事申請が必要な場合は、規制に対応した報告書のご納品が可能です。また、日本国内で上市予定の製品については、それぞれの目的に応じたテストのご提案をします。

イプソスヘルスケアでは、海外に85拠点あるグローバルネットワークを通して、調査対象となる国の市場理解に基づいた調査アプローチのご提案や適切な対象者のリクルートが可能です。

マーケットの把握や製品の上市後の評価などの通常の調査にHF&UX調査を加えることで、貴社の製品ライフサイクルをトータルにサポートするサービスをご提供しています。こんな調査を実施してみたい、または、HF&UX調査についてもっと詳しく知りたいというご要望がありましたら、ぜひ一度ご相談ください。

※調査対象者と対面実施する調査は、新型コロナウイルスの感染防止策を十分に講じた上で実施しますが、状況によっては実施方法やタイミングなどについて、ご相談させていただく場合がございます。

医療機器チームの自主調査Pulse Surveyのご案内

イプソス ヘルスケアの医療機器チーム(MD&D)では、年に数回、世界の医療機器領域のトレンドを調べるために、医師を対象とした自主調査(Pulse Survey)を実施しています。Pulse Surveyの対象国/地域は、各回異なりますが、2020年度は、２月に「体外診断用医薬品(対象: 北米、ヨーロッパ)」、そして４月には「糖尿病(対象: 日本、北米、ヨーロッパ、ロシア、中国、ブラジル、インド)」を実施しています。

一部内容をご紹介すると、4月に実施した「糖尿病」のPulse Surveyで明らかになったのは:

- 日本の医師の４割弱が糖尿病関連のデバイスメーカーに求めるサポートは「医療従事者へのトレーニングと教育」でした。
- 糖尿病患者さんが抱える不安は「糖尿病により引き起こされた損害」、「高血糖」、「悪化することへの恐怖」などでした。

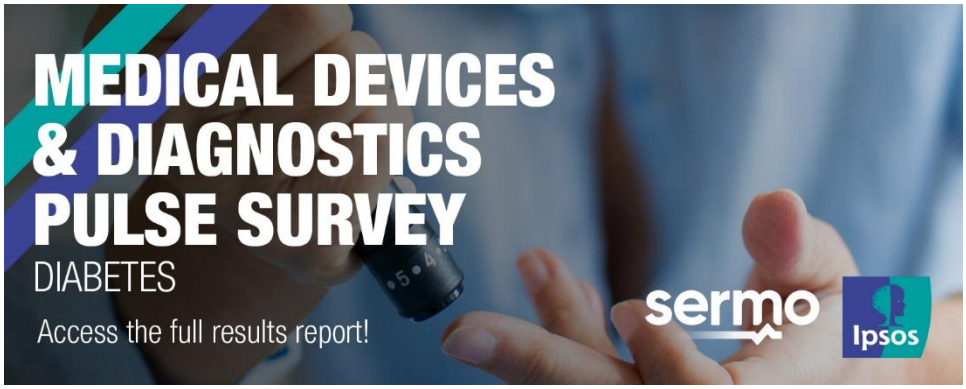
「糖尿病」のPulse Surveyではこんなことも聴取しています。

- 各治療法や技術に対して、患者さんから情報提供を求められる程度とは？
- 糖尿病領域 (血糖測定器、持続血糖測定器、インスリンポンプ)で最もイノベーティブ(革新的)だと思うメーカーは？
- 先生が推奨する血糖測定器のブランドは？

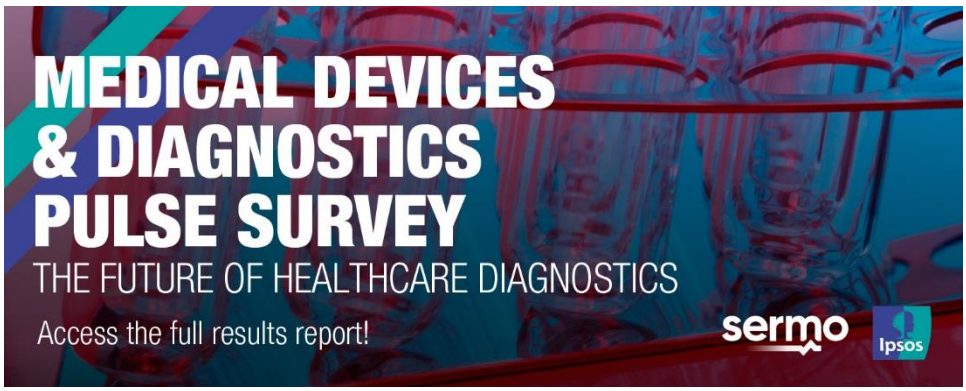
国や地域が異なると、医師がメーカーに求めることや、臨床実態そのものも異なる場合があります。Pulse Surveyをご覧いただくと国ごとの特徴の違いなど、新たな発見があるかもしれません。日本市場や海外の市場について知りたいという方、または、ちょっとした話のネタ用に、是非Pulse Surveyをご覧ください。

下記にリンクを貼っていますので、詳細結果をお知りになりたい方は、是非ダウンロードしてみてください。（もちろんフリーです！）

糖尿病領域のPulse survey (2020年4月実施)



体外診断用医薬品領域のPulse survey (2020年2月実施)



イプソスウェビナー実施のご報告

イプソスウェビナー「コミュニティで患者様と直接つながる、声をきく、理解する」へのご参加ありがとうございました。

イプソスでは、6月24日(水)にイプソスウェビナー「コミュニティで患者様と直接つながる、声をきく、理解する」を開催し、ヘルスケア業界の事例を交えたオンラインコミニュティのご紹介をしました。

当日は、リモートから大勢の方々にご参加いただき、また、ウェビナー終了後にはいろいろなご質問をいただくなど、大きな反響をいただきました。お忙しい折、ご参加いただいた皆様におかれましては、改めて御礼申し上げます。

ご都合が合わずウェビナーへのご参加をいただけなかった皆様には、担当より本サービスについてのご案内をさせていただきますので、お気軽にご連絡ください。

オンラインコミュニティに関するお問い合わせ先：hec_newsletter@ipsos.co.jp

オンラインコミュニティのご紹介記事はここをクリック

お問い合わせ

■イプソス　ヘルスケア通信で取り上げてほしいテーマや、調査でお困りのことはございませんか？

その他ご意見・ご感想・配信停止のご連絡につきましても、以下までお寄せください。

イプソス ヘルスケア通信 編集部

メール：hec_newsletter@ipsos.co.jp
電話　：03-6867-8110

イプソス株式会社　http://www.ipsos.com/ja-jp
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13　ヒューリック神谷町ビル